

令和8年度 足寄小学校 グランドデザイン ～みんなではぐくむ 足寄の子～

学校：正解を教える場所から「問いを生む場所」へ



教職員が
チームとなり、
安心・安全で信頼される
学校づくりを推進します。

【知】進んで学ぶ子（確かな学力）



ICTを効果的に活用し、
主体的・協働的な
「問いを生む授業」への
転換を推進します。

家庭：自己肯定感を高める土台づくり



学習・生活習慣を確立するとともに
会話や自己決定の機会を創出する
「家庭教育」を推進します。

チーム足小の役割（協働のカタチ）



令和8年度 足寄小学校 育成を目指す子どもの姿
「自分で考え、自分で決めて、自分で行動する子」

多様な他者と協働しながら「自立」と「自律」する力を
全ての基盤とします。小学校から中学校、高校へと
つながる資質・能力の育成を見捉えた
教育を推進します。



異学年交流や特別の教科道徳を通じ
思いやりや寛容さの育成と
いじめの未然防止と根絶に向けた取組を推進
し安心な学校づくりに努めます

【徳】思いやりのある子（豊かな心）

教職員：質を高める教育活動

ウェルビーイングを感じる
働きがいのある足寄小へ

「仲間へ感謝！、子どもの感動！」
誰もが「通いたい」「通わせたい」学校づくり
を推進します。

【体】たくましい子（健やかな体）



主体的に楽しむ体育授業や、
家庭と連携した
生活習慣の確立により
体力を向上させます。

コミュニティ・スクール (CS)



地域の声を反映し
地域の教育力を生かすとともに
こ小中高の切れ目ない
連携を深めます。

地域：足寄の教育力を生かした連携